

平成 18 年度 静岡県信連決算状況について

静岡県信用農業協同組合連合会（理事長 鈴木文隆）の 2007 年 3 月期（平成 18 年度）決算は以下のとおりとなりました。

1. 経常利益 前期並みの 7,534 百万円を確保

売上に相当する経常収益は、7月のゼロ金利政策の解除により運用勘定利回りが上昇し、資金運用収益が 3,069 百万円増加したことにより、前期比 9.0%増収の 35,032 百万円となりました。

また、貯金利息等の資金調達費用等の負担により経常費用も増加し、経常利益は前期比 1.1%減益の 7,534 百万円となりましたが、ほぼ前年並みを確保いたしました。

当期利益につきましては、法人税等の増加により前期比 12.9%減益の 6,701 百万円となりました。

この結果、本業の儲けを示す業務純益は、資金収支の改善等により前期比 7.9%増益の 7,806 百万円となりました。

なお、リスク管理債権比率は 2.16%と低水準を維持することができました。

2. 自己資本比率（バーゼルⅡ基準）は、16.01%を確保

内部留保の充実を図るべく利益準備金、特別積立金（目的積立金）を積上げたこと、新基準によりリスクアセットが 1,287 億円減少したことにより、自己資本比率は 16.01%となり、国内基準 4%を大きく上回っております。

本件に関するお問合せは

静岡県信連 総務部 広報担当までご連絡ください。

TEL 050-3101-4613